

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		県単道路改築事業		路河川名等	(一)奉納中土(停)線	
事業毎の通番		9	市町村名	小谷村	箇所名(ふりがな)	奉納～犬川(ぶのう～いぬかわ)
事業概要	事業目的	当該路線は、生活道路であるが狭隘なうえに視距も悪い箇所が存在し非常に危険な状況である。そのため、道路改良事業を実施し、生活道路としての安全を確保したい。				
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法	
	関連する事業、計画等	-				
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量 : 1,294台/日				
	着手年度	H27年度	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)
	完成年度(見込み)	H30年度	費用対効果	1.8	国庫	その他 県債 一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路改築 L=200m、W=5.5(7.0)m			56,000	50,400 5,600
	年度事業内容(主な工種)	H27 道路詳細設計			3,000	2,700 300
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間の短縮			
		間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進			
評価の視点	必要性	○代替道路の有無 : 無 ○交通結節点アクセス : 村営バス路線 ○生活支援・観光振興 : 国道148号へ出る唯一の路線			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 無 ○緊急輸送路の路線指定 : 無 ○地域指定 : 特別豪雪地帯、過疎地域			評価	C
	効率性	○費用対効果(B/C) : 1.82 ○事業期間 : 3年間を予定 ○工法等の比較検討 : 無 ○他事業との連携 : 無			評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数 : 無 ○渋滞及び騒音・振動の緩和 : 無 ○歩道整備 : 無 ○現況の幅員、半径、勾配 : 現況幅員4.0m未満が存在			評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有 : 土谷地区に周知 ○地域の取り組み : 土谷地区からの要望 ○地域の合意形成 : 土谷地区の住民からの要望 ○住民との協働 : 植栽作業を通じて具体的な要望がある。			評価	A
	部意見	事業の必要性、計画熟度が高いため、平成27年度から事業化したい。	行政改革課意見	必要性が認められる。	評価結果	総合評価

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)			
	 			
事業周辺環境	【整備の必要性がわかる状況写真等】			
	①		②	
	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該路線は、狭隘な箇所が多く待避所や視距改良を実施してきた。近年は、同村内の災害や県予算の縮小で投資が見送られていたが、沿線の住民の作る愛護会が中心となり県とアダプト協定を結び、地域の活性と健全な道路維持への協力をいただいております。住民だけでは対応出来ない危険箇所の剪除を、特に住民の意見を聞いて厳選し事業化する。		
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	毎年、県道奉納中土線愛護会から大町建設事務所長に対し要望がある。		
	③事業説明等の経緯	地区全員参加で行うスイセン植樹に建設事務所も参加し、沿道をすべて歩き危険箇所の踏査を行っている。		
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし。		
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	現道拡幅を基本とし、自然への影響を最小限とする。		
⑥地域活性化への影響と配慮	奉納温泉へ接続しやすくし、観光客を増やす。			
⑦その他	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 80' 60" 東経:E 137° 93' 41"		